

# 医科研究会

## 講師略歴

- S46.3月 久留米大学医学部医学科卒
- S53.7月 田川市立病院整形外科 部長、リハビリセンター長
- S55.5月 石橋整形外科医院開業(院長就任)
- H3.1月 医療法人千鳥会石橋整形外科へ名称変更(理事長就任)
- H15.4月 同院 通所リハビリテーションつばさ 付設
- H17.4月 NPO法人ひかり設立(副理事長)  
グループホームなの花(北)を建設・運営  
グループホームなの花(南)を建設・運営
- H28.10月 サービス付高齢者向け住宅「エーデルハウゼ桜」  
開設・運営(NPO法人ひかりにて)

## 資格等

- 日本体育協会公認スポーツドクター
- 日本整形外科学会認定スポーツ医
- 日本医師会認定産業医
- 佐賀県身体障害者認定指定医
- 佐賀県医師会健康スポーツ対策委員会委員
- 鳥栖三養基地区障害者区分認定委員
- 鳥栖三養基医師会理事(自賠責労災担当)



講師

# 石橋 千和 先生

(当協会病院・有床診療所部員、  
医療法人千鳥会石橋整形外科理事長)

地域包括ケアシステム推進の中で介護サービスとの連携等

# 我々有床診療所の現状と 今後の国の指針についてのご報告

### 講師からの一言

私達、有床診療所の存続に関しては極めて厳しい状況にあります。現に35年前に2万6000施設あったのが昨年は約7300に減少しているのです。近年その理由が明確になっていますが(1)入院基本料が極めて安い。(2)スプリングクラーの設置義務。(3)看護師他スタッフ不足。(4)現院長の高齢化。(5)後継者や継承問題。そして(6)国のベッド数削減方針等でありますが、もはや有床診療所独自で診療、運営していく事は大変であります。

一方厚労省も有床診療所の激減に対してその必要性にやっと気付いたが、色々なアイデアを地域包括ケアシステム推進の中で出してきました。「地域の宝物」である私達の「入院も出来る診療所」を使い介護サービスや街づくり等のプランが出てきました。来る超高齢者時代そして急ぎよまった「在宅医療」推進の現在、皆様と共に先輩方が地域で守って来られた歴史と伝統ある有床診療所を絶対に存続させる為に頑張りましょう。

参加費無料

日時 **2月26日(月) 19:30~**

会場 **佐賀市文化会館 大会議室** 佐賀市日の出1-21-10 TEL0952-32-3000

\*参加対象/会員の医師、スタッフ



主催 **佐賀県保険医協会**

☎ (0952)29-1933 FAX 23-5218  
E-mail: hoken-i@star.saganet.ne.jp

FAX参加申込書  
**FAX (0952)23-5218**  
2018.2.26(月)

我々有床診療所の現状と今後の国の指針について、ご報告  
～地域包括ケアシステム推進の中で介護サービスとの連携 等～

参加人数	医師	スタッフ
	名	名

医療機関名 \_\_\_\_\_

会員名 \_\_\_\_\_

御住所 〒 \_\_\_\_\_

☎ ( ) - \_\_\_\_\_

HP